

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第36号

第36週(8月30日～9月5日)

発行年月日:平成16年(2004年)9月10日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (36週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (36週)	全国 (36週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	6	372	7	459
	腸チフス	0	1	46	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	18	2691	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*)	0	1	20		
	オウム病	0	1	31	1	44
	ツツガムシ病	0	0	98	2	380
	デング熱	1	1	29	0	31
	マラリア	0	1	43	0	77
	レジオネラ症	0	0	95	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	6	397	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	191	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	112	3	115
	後天性免疫不全症候群	0	4	763	8	949
	ジアルジア症	0	1	57	0	99
	梅毒	0	2	340	2	493
	破傷風	0	2	61	1	69
	急性脳炎	0	0	49	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2)定点把握の対象となる5類感染症

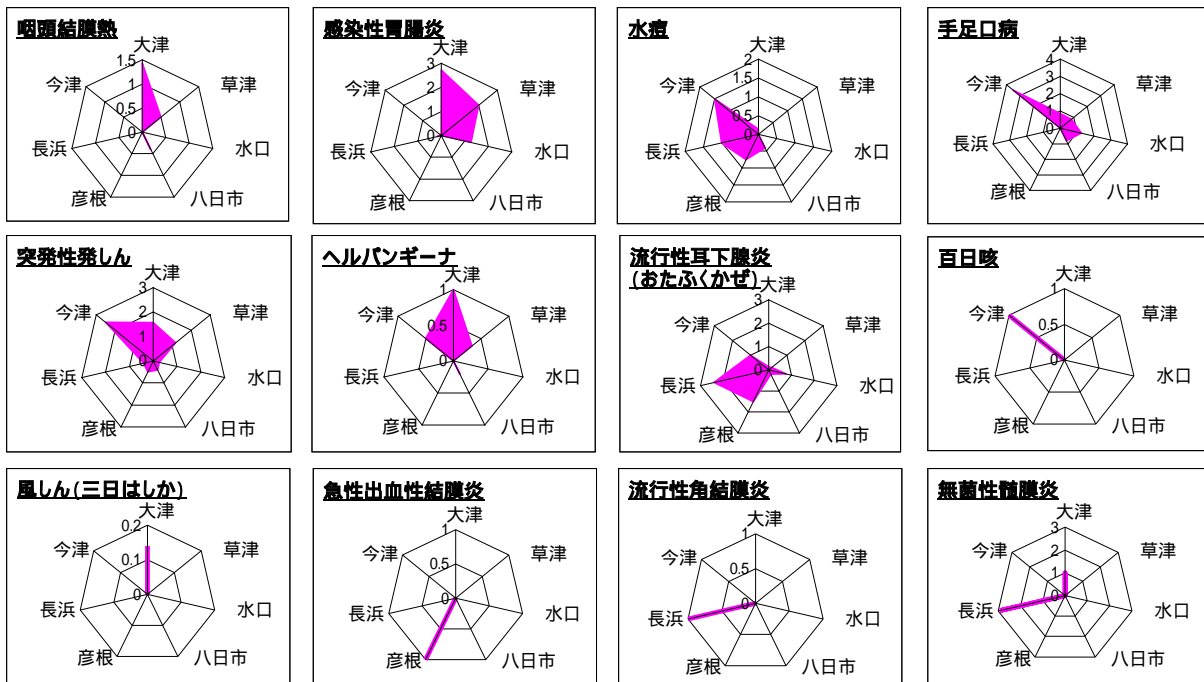
(1)疾病別・週別発生状況

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	前週より増加						前週と同じ		前週より減少		
	31週 (7/26～)	32週 (8/2～)	33週 (8/9～)	34週 (8/16～)	35週 (8/23～)	36週 (8/30～)	32	33	34	35	36
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	1.45	1.27	1.36	0.82	1.00	0.45					
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.18	0.27	0.18	0.21	0.09	0.03					
感染性胃腸炎	1.52	1.70	1.55	0.88	1.30	1.12					
水痘	0.36	0.21	0.33	0.42	0.48	0.42					
手足口病	0.73	0.79	0.36	0.58	0.27	0.82					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.12	0.06	0.12	0					
突発性発しん	0.73	0.67	0.52	0.88	0.82	0.91					
百日咳	0	0	0.09	0	0	0.06					
風しん(三日はしか)	0	0.03	0	0.03	0.06	0.03					
ヘルパンギーナ	2.03	1.30	0.61	0.70	0.67	0.33					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0.03	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.48	0.58	0.39	0.55	0.45	0.79					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.43	0.29	0.14	0.14					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0.86	0.57	0.14	0.29	0.29	0.57					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.43	0.29	0.29	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.45	1.43	0.50	0	0.40	0	0	0
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1.12	2.71	2.00	1.25	0	0	0.20	0
水痘	0.42	0.14	0	0	0.40	0.75	1.00	1.50
手足口病	0.82	0.86	0.83	1.25	0.80	0	0	3.50
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.91	1.57	1.17	0.25	0.40	0.50	0.40	2.50
百日咳	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00
風しん(三日はしか)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.33	1.00	0.33	0	0.20	0	0	0.50
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.79	0.14	0.17	0.75	0.20	1.50	2.40	1.00
急性出血性結膜炎	0.14	0	0	0	0	1.00	0	0
流行性角結膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.57	1.00	0	0	0	0	3.00	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の発生状況は上記のグラフに示すとおりですが、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の定点当たり患者数は大津保健所管内で多くなっており、水痘の定点当たり患者数は今津、長浜および彦根保健所管内で多くなっています。また、手足口病は今津保健所管内で、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は長浜保健所管内で定点当たり患者数が多くなっています。風しん(三日はしか)は先週に引き続き発生し今週は大津保健所管内から報告されています。百日咳の発生は今津保健所管内から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生に地域的な偏り

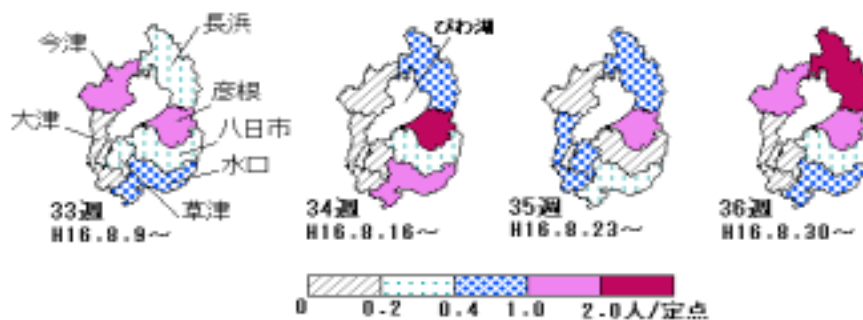
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(8月23日～8月29日)の報告数とほぼ同数ですが第33週(8月9日～8月15日)以降減少傾向となっています。手足口病、突発性発疹、百日咳、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、急性出血性結膜炎および無菌性髄膜炎は増加しています。また、他の疾患については減少または横ばいとなっています。(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

手足口病については、発生状況は昨年の同時期とほぼ同じ傾向を示し定点当たり患者数は0.82となっています。保健所管内別にみると今津保健所管内の定点当たり患者数は3.50と多くなっています。

百日咳については、昨年の同時期よりやや多く発生しており第29～36週(7月2日～9月5日)において大津、水口および今津保健所管内で散発的に発生しています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、定点当たり患者数は先週より増加し0.79となっています。長浜保健所管内の定点当たり患者数は2.40と多くなっており彦根および今津保健所管内でそれぞれ1.50、1.00とやや多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の週別発生状況(平成16年第33～36週、H16.8.9～H16.9.5)

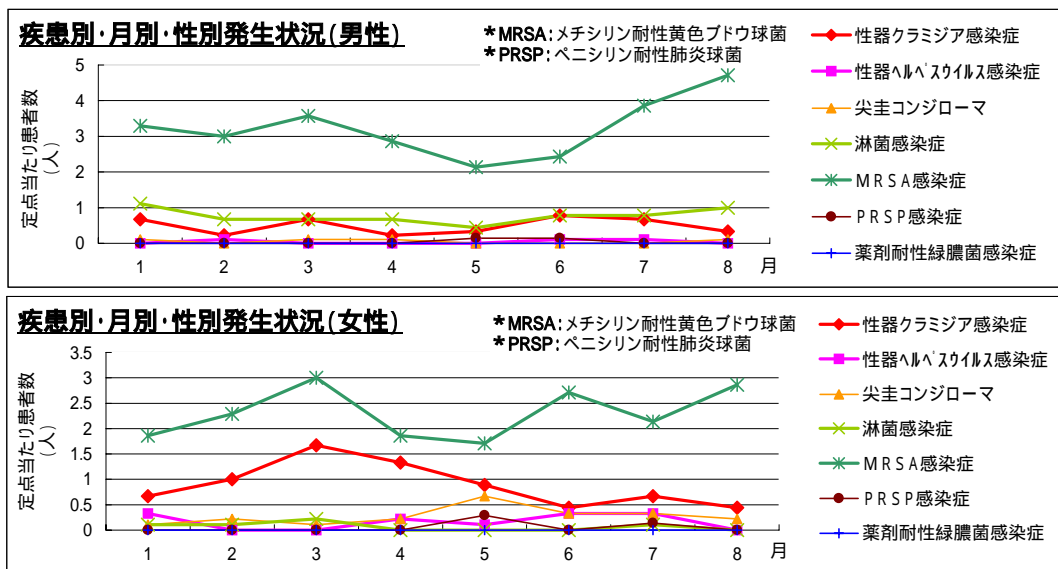


第33～36週の発生状況についてみると、長浜保健所管内で増加傾向を示しています。その他の保健所管内においては隔週ごとに増加または減少となり大きな変化はみられません。

4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成16年1月～8月)

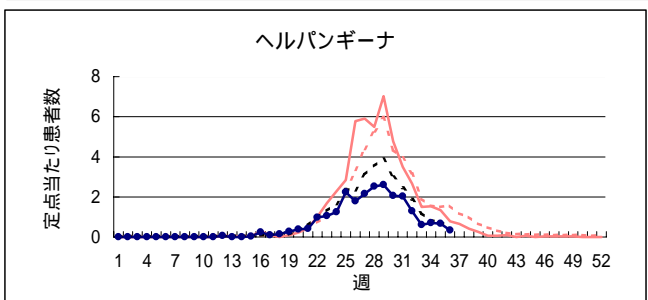
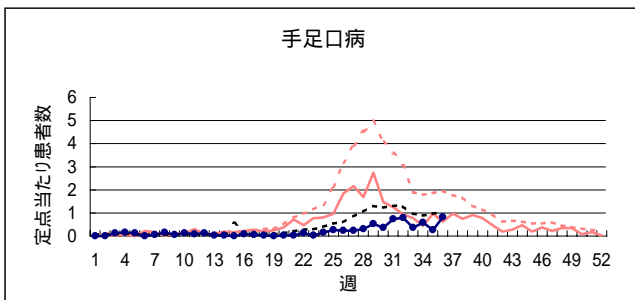
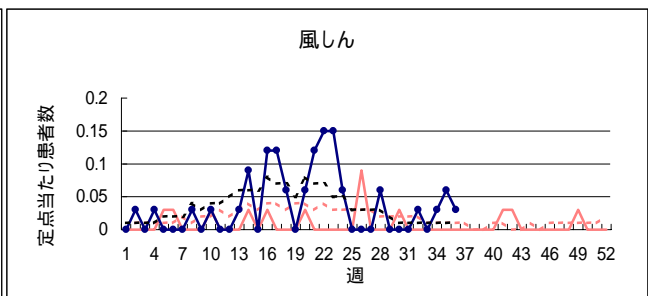
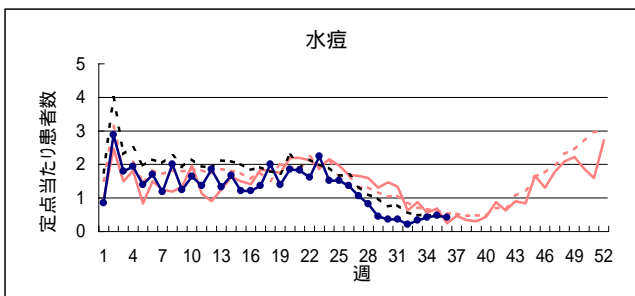
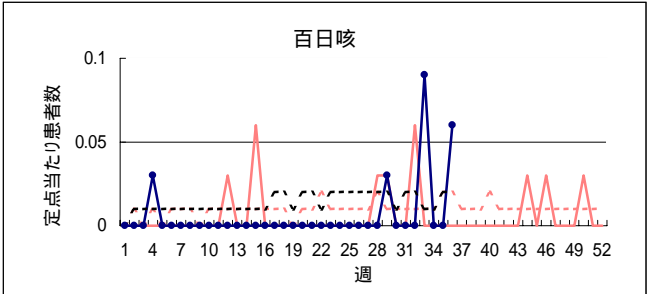
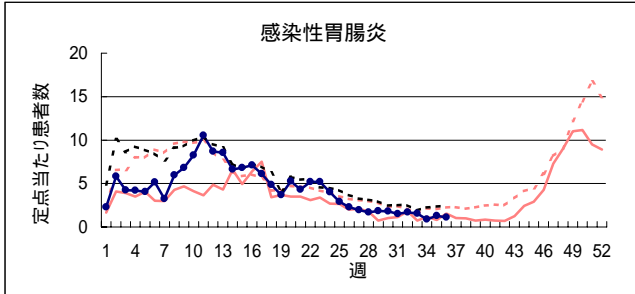
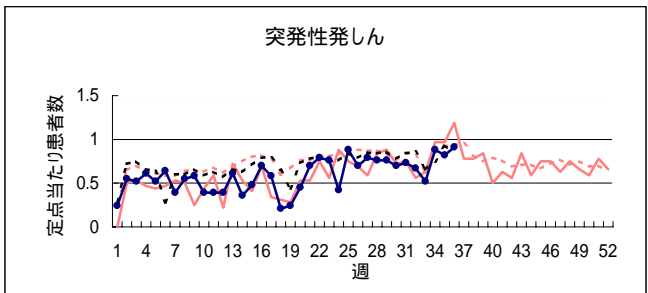
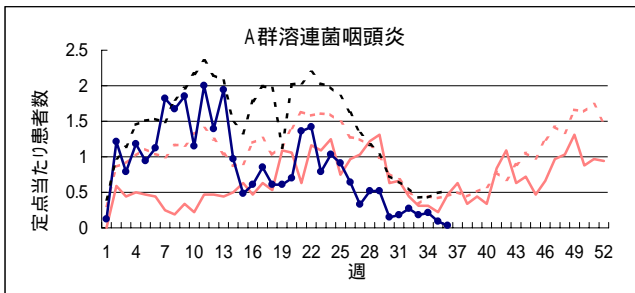
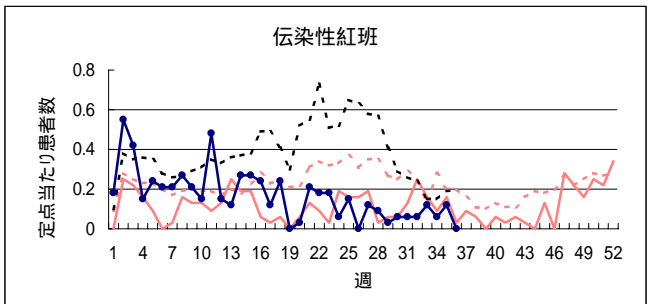
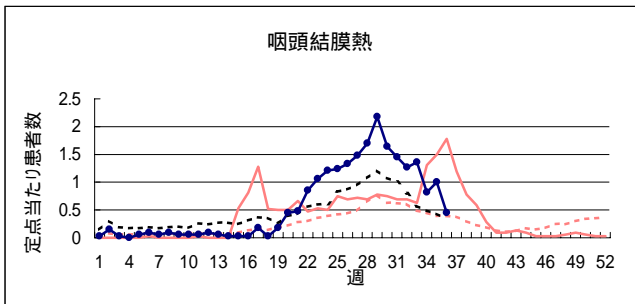
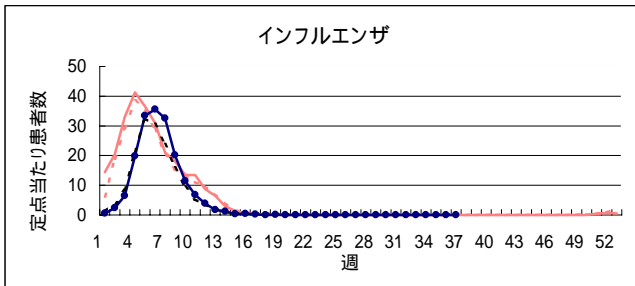
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、淋菌感染症およびMRSA感染症の定点当たり患者数は増加し性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症およびPRSP感染症の定点当たり患者数は減少しています。また、尖圭コンジローマは横ばいとなっており、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした(詳細については、性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

各疾患の月別・性別発生状況は下記のグラフのとおりです。淋菌感染症および尖圭コンジローマは男性で増加し女性で減少しています。



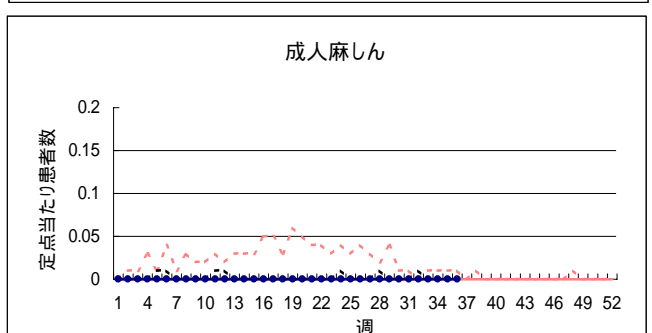
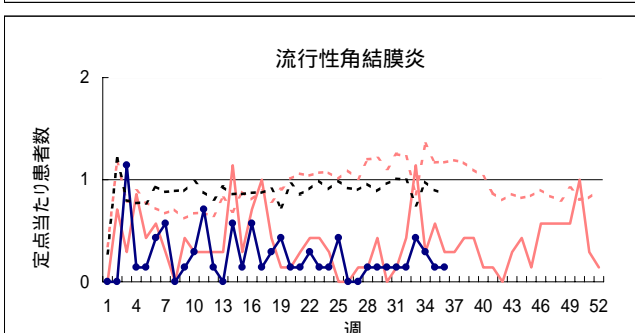
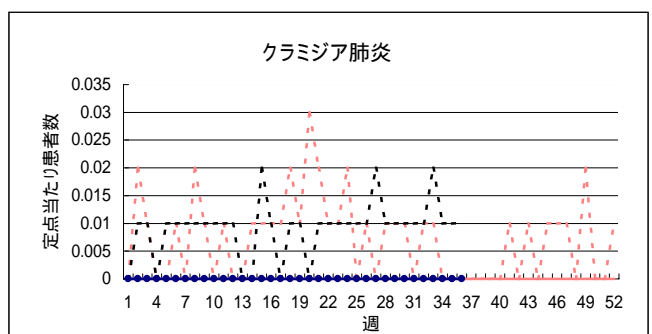
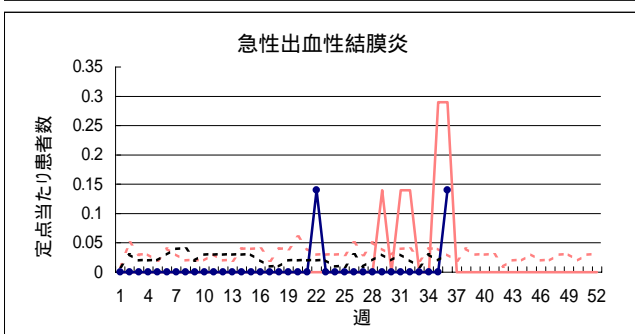
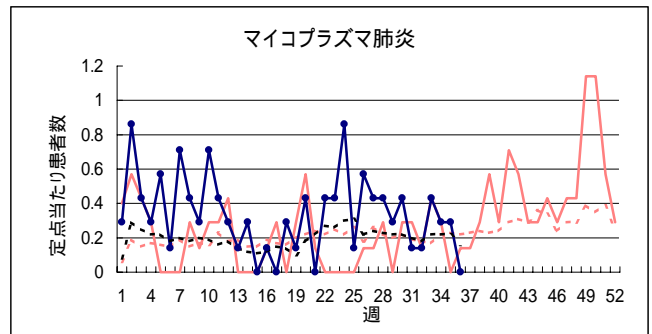
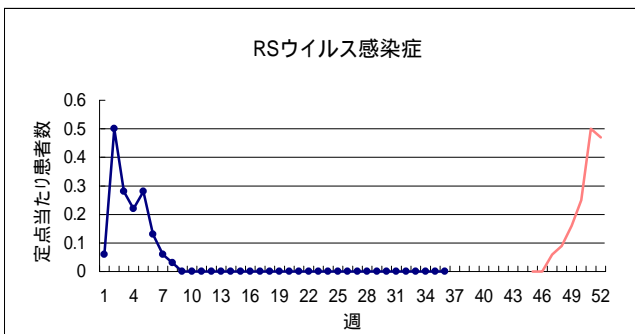
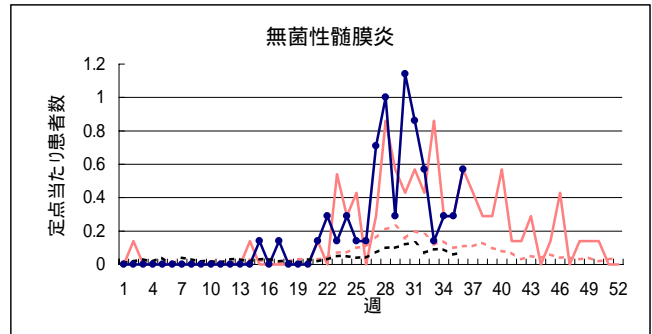
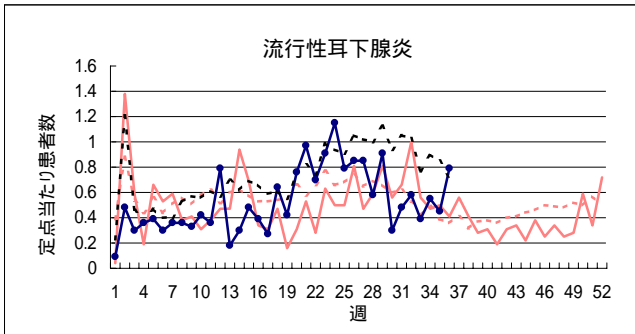
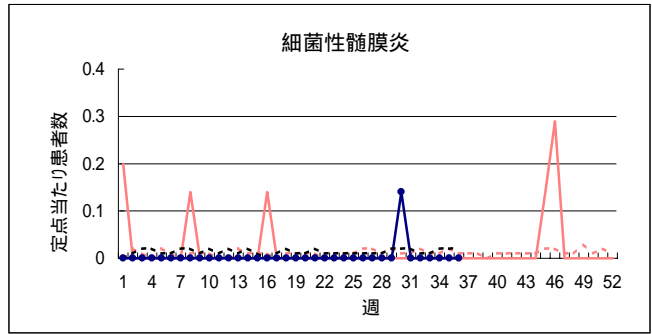
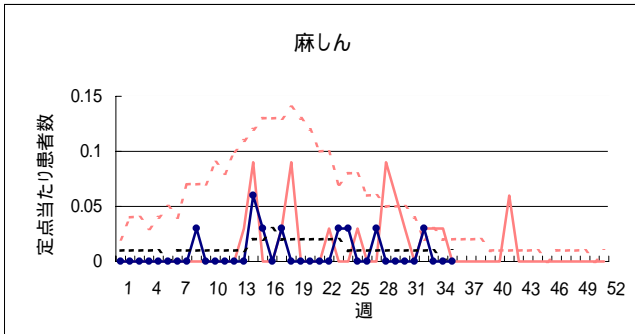
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第36週、H15.12.29～H16.9.5)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第36週、H15.12.29～H16.9.5)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

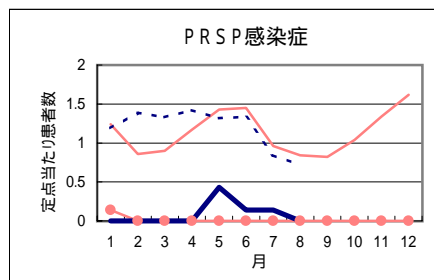
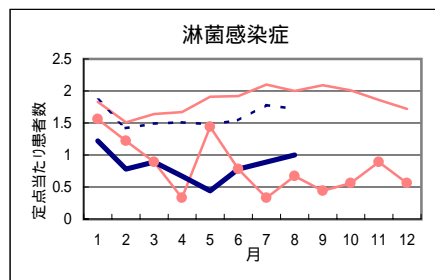
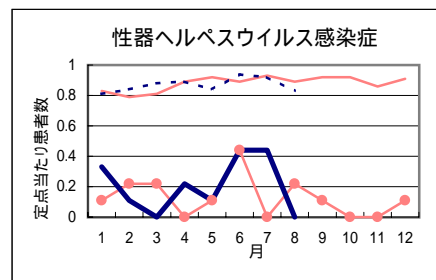
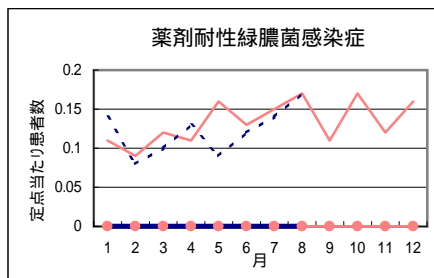
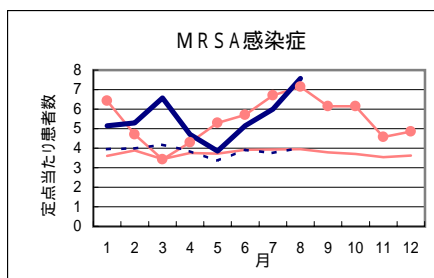
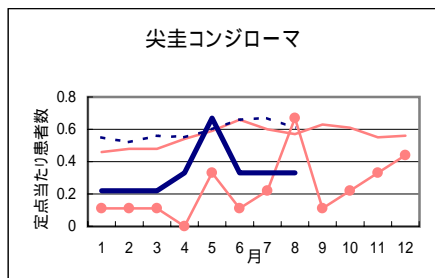
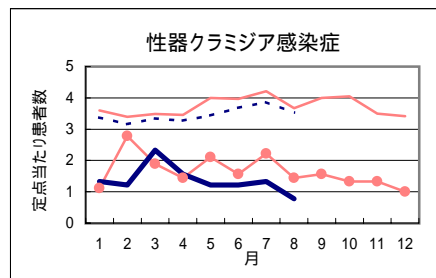


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

8月報 (集計期間:平成16年1月~8月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	12	11	21	14	11	11	12	7					99
	定点当たり	1.33	1.22	2.33	1.56	1.22	1.22	1.33	0.78					1.37
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	2	1	4	4	0					15
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.22	0.11	0.44	0.44	0					0.21
尖圭コンジローマ	罹患数	2	2	2	3	6	3	3	3					24
	定点当たり	0.22	0.22	0.22	0.33	0.67	0.33	0.33	0.33					0.33
淋菌感染症	罹患数	11	7	8	6	4	7	8	9					60
	定点当たり	1.22	0.78	0.89	0.67	0.44	0.78	0.89	1.00					0.83
MRSA感染症	罹患数	36	37	46	33	27	36	42	53					310
	定点当たり	5.14	5.29	6.57	4.71	3.86	5.14	6	7.57					5.54
PRSP感染症	罹患数	0	0	0	0	3	1	1	0					5
	定点当たり	0	0	0	0	0.43	0.14	0.14	0					0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0					0



H15 { 滋賀 ●●●
 { 全国 ———
 H16 { 滋賀 ●●●
 { 全国 ———
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌